

「2023年度中国・浙江大学スプリングスクール派遣報告書」

京都大学工学部3年 Hongfongfah Jakgarin

日本の留学生になっている私は、今回の派遣に参加する前には不安の感情が決してなかったが、中国は本当にどのような国なのか気になっており、すごく楽しみにしていました。中国で2週間だけで生活を送ってもたくさんの経験を得ることができました。その2週間のおかげでもっと中国のことを理解し、将来の道を計画することに役に立ちました。

京都大学生は向こうの浙江大学学生たちと共同セミナーに参加しましたから、留学する前に、浙江大学と一緒に留学しに行く京都大学生たちは話し合うことができ、仲良くなりました、それで、留学中でみんなが互いに気軽に手伝いをしていました。私の日本での留学経験により、留学のときには友達があれば安心になるはずですが。問題があるとき、一人であれば、もっと困りますが、二人以上あればなんとなく一緒に解決できます。

また、留学している間は、浙江大学で留学している他の国の学生たちと一緒に中国語を勉強したり、話をしたりすることができました。そのため、私達より前に中国に来た学生たちからのアドバイスをもらい、なにかしていいのかなにか、注意しなければならないのかをよく知りました。もちろん来たばかりのときに、友達を作ることは難しかったが、ボランティアとしての中国人の先輩たちもいつも手伝ったり、質問を対応したりしてくれました。中国語できなくても、先輩たちは会話レベルの日本語できました。

ところが、中国語はもちろん必要でした。平日には中国語授業をとっていました。授業は中国語で行っていましたが、内容が難しくなくても、聞き取れない場合がありました。ただし、私は中国語も喋れますから、少しだけ聞き取れなかったです。それで、内容をちゃんと学ぶことができました。さらに、授業が終わったら、出かけをしました。出かけはすごく重要でした。出かけしなければ、中国のことは全然わからないと思います。中国語ができる私でも、最初には中国の文化や生活のことがわからなかったから、よく勘違いしていました。そのため、中国語は毎日勉強できましたが、現地で中国語を使う経験はそれより大事でした。私はよく出てきましたから、中国人と中国語をよく話していましたから、中国語のレベルが上がってきました。

休憩のときに、他の留学生たちとも交流できました。そうしたら、中国のことだけではなく、たくさんの国の文化も理解できました。皆も中国語を練習したかったから、中国語で話していました。中国人が速いスピードで話をしますから、少し難しいかもしれない。しかし、留学生たちならば、いい練習になりました。そのあとは、先生たちも声をかけたら、相手をしてくれました。先生たちは絶対に発音がきれいでしたから、聞き取りやすかったです。

私はまた留学したいと思っています。留学先の一つは中国です。杭州に行く前に、研究や大学生活などの浙江大学のことをよく調べました。ただし、現地に行ったほうがより深く理解できました。中国は日本と全然違っても、面白い国であると思いました。来年、もしも機会があれば、中国をもっと見に行きたいです。そのため、これからも、中国語をもっと頑張ります。